第１学年　算数科授業案

授業者　１年❷

１　単元　　ピーチ姫を助けろ！～たしざん（１）～

２　本時の目標

　　・たし算の具体的な場面とたし算の式の関係を理解することができる。（知識・理解）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習形態 | アンプラグドプログラミング | | 使用機器 | 大型テレビ、OHC、HDMIケーブル、タブレット端末、HDMI－miniHDMIケーブル |
| プログラミング的思考とのつながり | | フローチャートを用いることで、考え方を可視化し、子どもたちが手順にしたがって問題づくりに取り組む。 | | |

３　展開

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 学　　　習　　　活　　　動　　　　※教師支援　　◆ＩＣＴ機器の活用　　☆評価  ※式がイメージできない子には、問題に合わせて数図ブロックを使ってみるよう、机間指導で助言する。 |
| １５  ４０ | ハンマーブロスからの問題  文章と図を見て、お話を式に書こう  ㋑　はとがいます。  はじめに　５わ　いました。  あとから　３わ　とんできました。  ぜんぶで　８わに　なりました。  ㋐　すなばに　こどもがいます。  おとこのこが　３にんいます。  おんなのこが　４にん　います。  あわせて　７にんいます。  C:\Users\ty612687\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\Content.Word\SKM_C454e18051914230.jpg  ・「ぜんぶで」と書いてあるから、たし算だね  ・「あとから３わ」と書いてあるから、＋のあとに３がくるよ  ・「はじめに５わ」だから、式は５＋３＝８になるね  ・「あわせて」と書いてあるからたし算だね  ・数字を順番に書いていけば式ができそうだよ  ・あわせてのあとにある「７」が答えだから、  ３＋４＝７になるね  C:\Users\ty612687\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\Content.Word\SKM_C454e18051914230.jpg  ※どこに注目して問題作りをすればよいかをわかりやすくするために、以下のようなフローチャートを黒板に掲示する。  絵を見て、３＋２＝５の式になるお話を作ろう    ◆問題をたくさん作るため、タブレット端末のカメラ機能を使い自分の考えた問題を録画する。  ・木が左に３本、右に２本あるから、あわせて５本になるよ  ※問題文作りの支えとなるように、言葉カードを掲示する。  ・三角の花壇に丸形の花が３個、星形の花が２個で、５個だね  ・三角の花壇の花に、上に３個、下に２個あって、５個だね  ※うまく見つけられない子には、数図ブロックを置いて考えるように助言する。  ・自転車が右に３台、左に２台あるから、あわせて５台だね  ・自転車は黄色が３台、青が２台あって、５台になるね  ※作った問題の違いに気づくために、発言のときに、フローチャートを使ってどのように問題作りをしたかを確認する。  ・タイヤが左に３こ、右に２こあるから、あわせて５こだね  ・タイヤは青色が３こ、黄色が２こあって、５こになるね  ◆作った話をわかりやすくするために、発言する子のタブレット端末を直接テレビにつないで映す。  ・子どもが３人遊んでいて、あとから２人に来ているよ  ・子どもが右に３人、左に２人いるね  ※「増加」の場面が捉えられるようにするために、子どもからの発言が出なかった場合は、上記の文頭の言葉を提示する。  一つの絵から、いろいろな問題ができたね  ・自転車の問題は２つあったから、おもしろいね  ・みんなに聞くと、いろいろなことがわかるね  ☆図を見て、式が３＋２＝５となるような問題文を作ることができたか。  （タブレット端末の動画、静止画）  振り返りをしよう  ・自分で式をかくことができて、よかったです  ・問題文を考えるのも楽しかったです |